

事務事業名 商店街近代化融資積立事業

区分	No	名称
章	3	大地に根ざしたたくましい産業が躍動するまち
節	1	活力に満ちた魅力あふれる産業をつくる
施策	3	活力ある地場産業の育成
小分類	3	世代を超えた交流ができる商業空間の形成
主要な施策	1	地域コミュニティの中心としての役割強化
事務事業番号	001	事業開始年度 平成 5 年度 事業終了年度 平成 - 年度 会計種別 一般会計

部 名	観光経済部	グループ名	商工労政グループ
-----	-------	-------	----------

事務事業の概要

《Plan・Do》

目的	(事務事業の実施目的を具体的に記入してください)
	北海道中小企業高度化資金貸付制度の対象となる商店街近代化事業に関する事業に対し、低利の融資を行うことにより、市内商業の振興を図ることを目的とする。
事業内容及び実績	(事業内容及び平成23年度の実績を具体的に記入してください)
	北海道の中小企業高度化資金貸付制度を利用する市内商店街振興組合等が、商店街の近代化事業に必要な資金を金融機関から低利で融資を受けられるよう、市が融資の原資となる積立金を金融機関に預託する。 店舗改造等資金（店舗の新增改築及び設備の近代化） ・中小企業者 設備資金2,000万円 運転資金1,000万円 ・中小企業団体 設備資金10,000万円 ・移転中小企業者 設備資金1,000万円 運転資金500万円 商店街環境整備資金（商店街の公共的な施設を整備） ・中小企業団体 設備資金10,000万円 【事業実績】 新規の融資実績なし。
今後の方向性	(次年度以降の事業展開における改善など今後の方向性を具体的に記入してください)
	当該融資残高がこの数年で償還される見込みであることから、他の融資制度とあわせて改廃を含めて検討する。
根拠法令等	(事業を実施する際、根拠となる法令・条例・規則・要綱等の名称を全て記入してください)
	登別市中小企業振興条例 登別市中小企業特別融資要綱

事業費（財源内訳）の推移

《Plan・Do》

区分		単位	H22年度 決算	H23年度 決算	H24年度 当初予算	H25年度 見込	H26年度 見込
国庫支出金	名称	千円					
道支出金	名称	千円					
地方債	名称	千円					
その他	名称	千円	3,000	2,000	1,000	1,000	1,000
一般財源	名称	千円					
事業費 合計			3,000	2,000	1,000	1,000	1,000

指標の推移

《Check》

区分		単位	区分	22年度 実績	23年度 実績	24年度 目標	25年度 目標	26年度 目標
成果 指標	融資申請件数(当該件数)	件	目標値	0	0	0	0	0
			実績値	0	0			
	融資実行件数(当該件数)	件	目標値	0	0	0	0	0
			実績値	0	0			

現況		《Check》
現状の状態、問題点、課題等《事業前》	具体的な対策、解決の方向性《事業後》	
・商店街近代化に伴う店舗改造等の費用負担が大きい。	・北海道の中小企業高度化資金貸付制度と連携して、低利の融資を行うことにより、資金調達を円滑にでき、商業の振興を図ることができる。	

担当グループによる事務事業評価の内容（複数回答可） 《Check》

1. 事務事業の妥当性について		
市が事業主体として実施していくべき妥当性の高い事業ですか？	市が主体に行うべき事業である	判断理由及びその他所見 北海道において、中小企業高度化資金貸付制度がある。
	民間(事業者、市民団体等)でも実施可能である	
	国、道、他団体等との連携や広域化が可能である	
	国、道、民間等の事業と重複・類似している	
2. 事務事業の必要性について		
市民ニーズの状況等から勘案して、必要性の高い事業ですか？	市民、団体等から具体的な要望がある	判断理由及びその他所見 本事業の融資制度を利用している中小企業者の融資残高相当分の積み立てを継続する必要がある。
	市民アンケートの結果から必要性が高い	
	社会情勢、地域事情等から必要性が高い	
	市民の大部分が関連することから必要性が高い	
3. 事務事業の効率性について		
事業内容とコスト(事業費)のバランスがよい効率性の高い事業ですか？	低予算、少労力で高い効果をあげている	判断理由及びその他所見 新たな融資の可能性が低いことから、制度の改廃を含め検討し、事業の最適化を図ることとしたい。
	市で実施するほうが民間委託より効率性が高い	
	多額の経費や労力を要するがやむを得ない	
	将来的に効率性を向上できる	
4. 事務事業の成果について		
目的を達成するための成果はあがっていますか？	成果指標の向上が見られる	判断理由及びその他所見 商店街近代化事業以降、新たな融資実績がなく、融資残高に応じた積み立てのみであることから、成果として把握することは難しい。
	市民、団体等の声から成果を感じられる	
	目に見える形で成果があがっている	
	成果の把握は困難である	

担当グループによる評価 《Check》

維持	左記の評価を選択した具体的な理由(根拠)	本事業は、中央町地区の商店街近代化事業に合わせた融資制度であり、融資対象となる高度利用地区内での新規融資の見込みは非常に少ないと考えられる。ただし、既存貸付の融資残高相当分の積み立ては継続するものの、数年で償還される見込みであることから、当該融資制度の必要性等について検討したい。
----	----------------------	----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

行政評価会議による評価 《Check》

維持	備考
----	----